

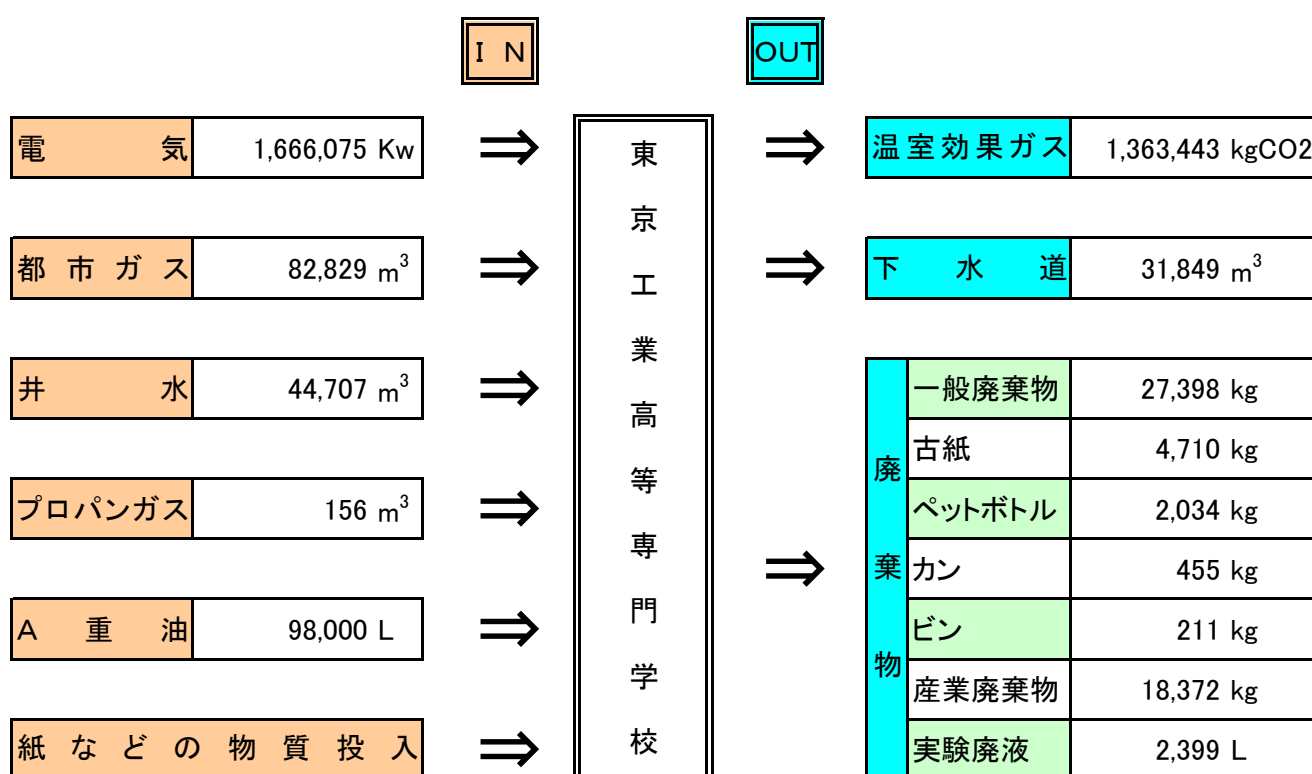
(事業活動におけるマテリアルバランス)

東京工業高等専門学校における物質収支

東京工業高等専門学校

東京工業高等専門学校における教育研究活動では、エネルギーや資源など様々な形で環境に負荷を与えています。ここでは、本校のエネルギーや資源の流れの概要を示します。

この数値は、本校の現在の環境負荷量を把握するだけでなく、今後の環境保全への取り組みがどれくらいの成果を挙げたかどうかを定量的に判断する基準にもなります。



温室効果ガス算出方法(環境省「温室効果ガス排出量算定方式」参照)

電気: 排出量(KgCO₂) = 電気使用量(kwh) × 排出係数(CO₂/kwh)

$$1,666,075 \times 0.555 = 924,672\text{kgCO}_2$$

都市ガス: 排出量(KgCO₂) = 燃料使用量(Nm³) × 単位発熱量(MJ/Nm³) × 排出係数(kgCO₂/MJ)

$$82,829 \times 41.1 \times 0.0506 = 172,256\text{kgCO}_2$$

プロパンガス: 排出量(KgCO₂) = 燃料使用量(kg) × 単位発熱量(MJ/kg) × 排出係数(kgCO₂/MJ)

$$(156\text{m}^3 \times 2.0747\text{kg}) \times 50.2 \times 0.0598 = 971\text{kgCO}_2$$

A重油: 排出量(KgCO₂) = 燃料使用量(L) × 単位発熱量(MJ/L) × 排出係数(kgCO₂/MJ)

$$98,000 \times 39.1 \times 0.0693 = 265,544\text{kgCO}_2$$